



2026年1月28日

各 位

会社名 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社
(コード番号 4765)

(上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)

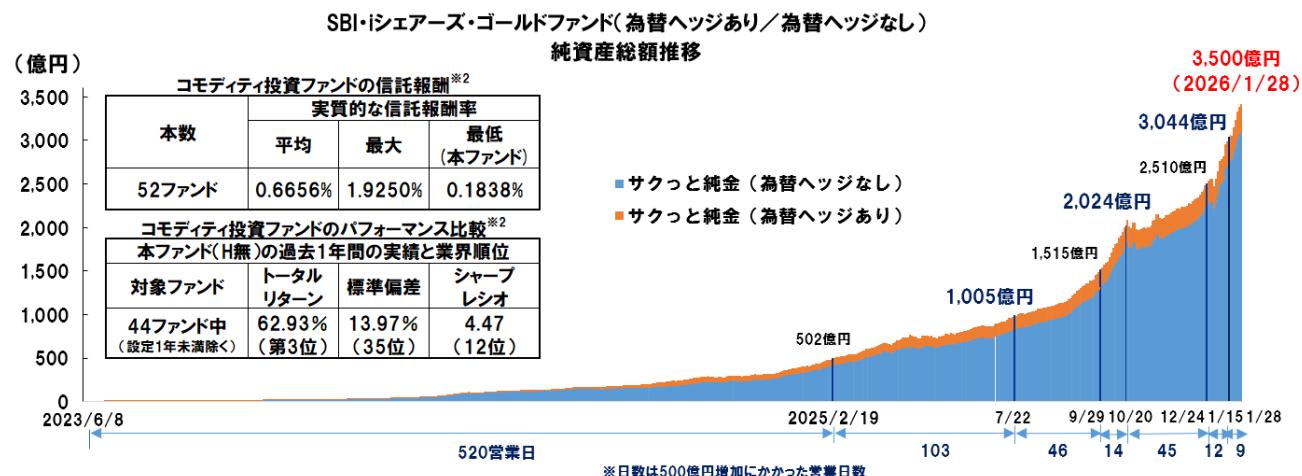
代表者 代表取締役社長 朝倉 智也

開示責任者 常務執行役員 CFO 小笠原 靖行

『SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド』純資産3,500億円突破 3,000億円達成から9営業日で500億円の純資産増

当社子会社のSBIアセットマネジメント株式会社が設定・運用する「SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド(愛称:サクッと純金)」は、為替ヘッジありおよび為替ヘッジなし合計の純資産総額が3,500億円^{*1}を突破しました。

本ファンドは2023年6月8日の設定以降、資金流入が継続しており、2026年1月15日に純資産総額は3,000億円を突破。純資産はわずか9営業日で500億円増加しました。



信託報酬を含めた本ファンドの実質的な負担(年率・税込)は0.1838%程度と、「金(ゴールド)」を含むコモディティを投資対象とするファンドの中でも最低水準のコスト^{*2}を実現しており、低コストで金へ投資できる手段として、幅広い投資家層に選好されています。

販売会社であるSBI証券の週間販売実績においても、本ファンドは「販売金額」と「積立金額増加」で第3位、「積立件数増加」で第2位にランクイン^{*3}するなど、高い支持をいただいております。

金は、特定の国や主体の信用に依存しない資産として、世界的に注目が高まっています。足元では、関税政策や経済制裁を巡る不透明感、各国における財政拡張や債務残高の増加などを背景に、通貨や金融システムを巡るリスクが改めて意識されています。こうした環境下で、世界の中央銀行を中心に金の保有拡大が継続しており、金への需要は短期的な投機や一時的な資金移動にとどまらず、価値保存や分散投資を目的とした中長期的な動きとして広がっています。本ファンドは、低コストで金へ投資できる手段として、こうした市場環境を捉えた運用を行っています。

今後も当社グループは「顧客中心主義」のもと、時代の変化や市場環境を踏まえた良質かつ低コストの商品提供を通じて、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

*1: 1月27日の純資産総額に1月28日の価格変動、設定計上予定額等を反映した試算額

*2: 公募の追加型投資信託(ETF除く)として、ウエルスアドバイザー株式会社の情報を基にSBIアセット調べ(2026年1月26日時点)

*3: 取扱い国内公募投資信託のうち、「販売金額」:2026年1月19日～23日の販売金額ランキング、「積立金額増加」:2026年1月19日～25日の積立金額増加ランキング、「積立件数増加」:2026年1月19日～25日の積立件数増加ランキング(当初募集、MMF/中期国債ファンド、公社債投資信託、ETF、WEB非取扱ファンド、買付停止中のファンド等を除く)。株式会社SBI証券HP(2026年1月27日時点)より当社調べ。

*****【本件に関するお問い合わせ先】*****